

子宮体癌、卵巣癌、婦人科系肉腫/癌肉腫の網羅的ゲノム・エピゲノム・遺伝子発現解析によるリスク分類への応用と新規治療法の開発

1. 研究の対象

当院にて 2015 年 4 月以降に婦人科腫瘍（子宮体癌、卵巣癌、婦人科系肉腫/癌肉腫）の切除手術が行われ、当院の「がん研究への協力に関する包括的同意書」による同意を得ている方、ならびに当院にて 2015 年 4 月以前に上記と診断され病理診断後の病理検体が保存されている方

2. 研究目的・方法

本研究では、婦人科腫瘍の網羅的な遺伝子発現解析、ゲノム・エピゲノム解析を実施し、婦人科癌の悪性度予測や薬剤感受性予測のための分子マーカーの探索を行います。また、癌の発生や進展に関わる分子機構を調べることで、分子標的治療の標的となりうる候補遺伝子を同定することを目的としています。得られた結果は婦人科癌の治療成績改善のための基礎的データとして役立てます。

研究実施期間：倫理審査承認後 5 年間（2021 年 7 月 9 日～2027 年 3 月 31 日）

3. 研究に用いる試料・情報の種類と取得方法

情報：発症年齢、検査時マーカー各種、病歴、治療歴、転帰、副作用等の発生状況（電子カルテから取得）、がん組織の網羅的ゲノム解析のデータ 等

試料：生検や手術、検査などで採取された腫瘍組織、非癌部組織、末梢血

4. 試料・情報の公開

本研究から得られたデータの解析結果は国内外の学会や論文などで発表します。論文などで報告したデータは、バイオサイエンスデータベース (<https://biosciencedbc.jp/>) などの国内・海外の公開データベースに登録することがあります。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

〒362-0806

埼玉県北足立郡伊奈町小室 818 TEL：048-722-1111

埼玉県立がんセンター 臨床腫瘍研究所 所長 上條岳彦

埼玉県北足立郡伊奈町小室 780 TEL：048-722-1111

埼玉県立がんセンター 婦人科 診療部長 堀江弘二